

就業構造基本調査調査票

◎15歳以上の各人について記入してください

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

○記入には必ず黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。○答えを記入する欄が○の場合は、当てはまる○を○のようにぬりつぶしてください。○文字で回答する場合は、点線の枠内に記入してください。

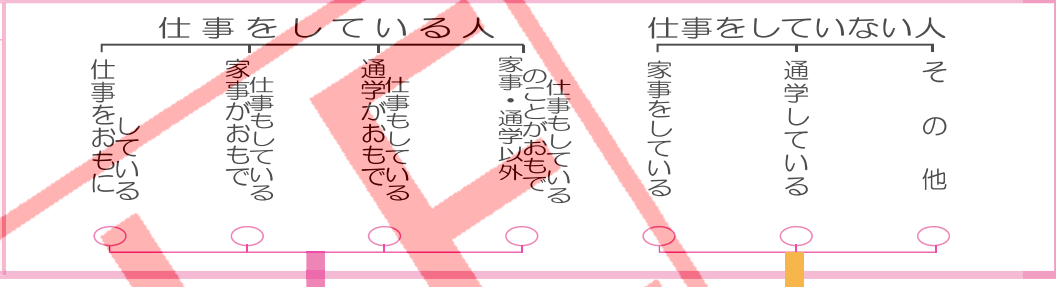
＜数字の記入例＞



1 氏名・男女の別及び配偶者（妻又は夫）の有無
2 世帯主との続柄
3 出生の年月
4 教育 (1) 就学状況
(2) 学校区分

5 居住地について
(1) 現在の場所に住み始めたのはいつですか
(2) あなたはなぜ現在の場所に住むことにしたのですか
(3) 現在の場所に住む前はどこに住んでいましたか
6 収入の種類

7 あなたはふだん何か収入になる仕事をしてしていますか
・ここで「仕事をしている」とはふだん仕事をしており、今後もしていくことになっている場合をいいます



A ふだん仕事をしている人
A1 勤めか自営かの別・勤め先における呼称
A1の2 自分で事業を起こしたのですか
A1の3 雇用契約期間の定めの有無・1回当たりの雇用契約期間
A1の4 この仕事で雇用契約を更新したことがありますか
A2 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容
A3 本人の仕事の内容
A4 勤め先・業主などの企業全体の従業者数
A5 この仕事の1年間の就業日数及び1週間の就業時間

B ふだん仕事をしていない人
B1 あなたは何か収入になる仕事をしたいたと思っっていますか
B2 どうして仕事をしたいのですか
B3 どのような種類の仕事（職種）につきたいのですか
B4 どのようなかたちで仕事をしたいのですか
B5 その仕事を探したり開業の準備をしていますか
B6 仕事を探したり開業の準備をしていないのはどうしてですか
B7 その仕事を探したり開業の準備をしている期間はどれくらいになりますか
B8 仕事があればすぐつくつもりですか
B9 収入になる仕事をしたいたと思っっていないのはどうしてですか

おもな仕事について（仕事を休んでいる人は休んでいる仕事について記入してください）

この調査票は機械にかかけますので汚したり丸めたり最初に折られている以上に折ったりしないで行ってください

調査員欄
記入欄
調査区符号
世帯番号
世帯員番号
世帯人員(世帯主の調査票のみ記入)
15歳以上の合計
人

A ふだん仕事をしている人のつづき こちらはウラ側です
オモテ側から記入してください

A 6 この仕事からの1年間の収入又は収益(税込み)

収入なし・未滿	50万円未満	50万円～99万円	100万円～149万円	150万円～199万円	200万円～249万円	250万円～299万円	300万円～399万円	400万円～499万円
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

・この仕事について1年未満の人は1年間の見積額について記入してください
・自営業の場合は売上高から必要経費を差し引いた営業利益について記入してください

A 7 この仕事にはいつついたのですか

大正 昭和 平成 西暦

・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください

A 8 どうしてこの仕事に ついたのですか
(おもなもの一つにマーク)

失業していた 学校を卒業した 収入を得る必要が生じた 知識や技能を生かしたかった 社会に出たかった 時間に余裕ができた 健康を維持したい よりよい条件の 仕事が見つかった その他

A 9 どうして今の雇用形態 についているのですか

第1面のA1欄で「雇われている人」のうち「パート」「アルバイト」「労働者派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他」と回答した方のみお答えください (それ以外の方はA11へ)

自分の都合のよいから 家計の補助・学費等を 得たいから 収入が少ないから 両立しやすいから 家事・育児・介護等 通勤時間が短いから 専門的な技能等を 生かせるから 正規の職員・従業員の 仕事がないから その他

(該当するものすべてにマーク) (うちおもなもの一つにマーク)

A 10 収入を一定の金額 以下に抑えるために 就業時間や日数を 調整していますか

している していない

A 11 この仕事を今後も 続けますか

この仕事を続けたい 別の仕事もしたい この仕事のほか ほかの仕事に 変わりたい 仕事をすっきり やめてしまいたい

・同じ会社で配置や勤務地を変りたい場合は「この仕事を続けたい」とします

A 11の2 どうしてほかの仕事に 変わりたいのですか
(おもなもの一つにマーク)

一時的に仕事だから 収入が少ない 事業不振や 先行き不安 定年又は雇用契約の 満了に備えて 知識や技能を 生かしたい 余暇を増やしたい 家事の都合 その他

A 11の3 どのようなかたちで 仕事をしたいのですか
(おもなもの一つにマーク)

正規の職員・従業員 パート・アルバイト 労働者派遣 事業所の 派遣社員 契約社員 自分で事業を 起こしたい 家業を継ぎたい 内職 その他

A 11の4 仕事を探したり開業の 準備をしたりしていますか

探している 開業の準備 をしている 何もしていない

A 12 現在より就業時間を 増やしたいと思 っていますか

今のままでよい 増やしたい 減らしたい

A 13 あなたはおもな 仕事のほかに 別の仕事もして いますか

していない している (ある時期だけしている場合も含む)

会社などの 役員 雇われている 人 自営業 手伝い 内職

(A15へ)

A 14 勤め先・業主など の事業の内容

・『調査票の記入のしかた』を 参考にして詳しく書いてください

A 15 1年前は何を していたのですか

仕事をしていた 仕事をしていた (仕事をおもにしていた)

仕事をしていなかった 家事・通学などの 家事 通学 その他

A 16 現在のおもな仕事につく 前に何か別の仕事をして いたことがありますか

ある (C欄へ) ない (E欄へ)

E 訓練・自己啓発について (全員が記入してください)

E この1年間に仕事に 役立てるための訓練や 自己啓発をしましたか

した (F欄へ) しなかった (F欄へ)

Eの2 訓練や自己啓発の 種類
(行ったものすべてにマーク)

(勤め先が実施したもの) (自発的に行ったもの)

勤め先での研修 大学・大学院の講座の受講 専修学校・各種学校の講座の受講 公共職業能力開発施設の講座の受講 講習会・セミナーの傍聴 勉強会・研修会への参加 通信教育の受講 自学・自習 その他

うち公的助成のあったもの

(F欄へ)

B ふだん仕事をしていない人のつづき

B 10 1年前は何を していましたか

仕事をしていなかった 仕事をしていた

家事 通学 その他 (C欄へ)

家事・通学などの 仕事をおもに していた 家事・通学などの かわらしていた

B 11 今までに何か仕事 をしていたことが ありますか

ある (C欄へ) ない (E欄へ)

C 前の仕事について

C 1 前の仕事をいつ やめたのですか

昭和62年(1987年)以前 昭和63年(1988年)以後

昭和 平成 西暦

・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください

(D欄へ)

C 2 前の仕事はどれ くらい続けていた のですか

1か月未満 1か月以上

年 月

C 3 どうして前の 仕事をやめた のですか
(おもなもの一つにマーク)

会社倒産・事業所閉鎖のため 人員整理・勸奨退職のため 事業不振や先行き不安のため 定年のため 雇用契約の満了のため 収入が少なかったため 労働条件が悪かったため 結婚のため 出産・育児のため 介護・看護のため 病気・高齢のため 自分に向かない仕事だった 一時的に仕事を辞めた 家族の転職・転勤又は 事業所の移転のため その他

C 4 前の仕事の勤め先 自営か別・勤め 先における呼称

雇われていた人のうち 正規の職員・従業員 パート アルバイト 労働者派遣 事業所の 派遣社員 契約社員 嘱託 その他

会社などの役員 自営業主 雇人あり 雇人なし 自家営業の手伝い 内職

・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます
・上記以外の派遣されていた人(デパートの派遣店員など)は派遣元の事業所における呼称について記入してください

C 5 前の仕事の雇用契約 期間の定め・1回 当たりの雇用 契約期間

雇用契約期間の定めの有無 定めがなかった(定年までの雇用を含む) 定めがあった

1か月未満 1か月以上 3か月以上 6か月以上 1年以上 1年超 3年超 5年超 期間がわからない

C 6 勤め先・業主など の事業の内容

・『調査票の記入のしかた』を 参考にして詳しく書いてください

C 7 本人の仕事の内容

・『調査票の記入のしかた』を 参考にして詳しく書いてください

(D欄へ)

D 初職について

D 1 最初についた仕事 は現在の仕事又は 前の仕事と別ですか

はい 現在の仕事とも 前の仕事とも別

いいえ 現在の仕事 前の仕事 まだ「最初の仕事」 についていない

・通学のかたわらにした アルバイトなどはここでいう 「最初の仕事」とはしません

(E欄へ)

D 2 「最初の仕事」には いつついたのですか

大正 昭和 平成 西暦

・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください

D 3 「最初の仕事」の 勤め先自営か別・ 勤め先における呼称

雇われていた人のうち 正規の職員・従業員 パート アルバイト 労働者派遣 事業所の 派遣社員 契約社員 嘱託 その他

会社などの役員 自営業主 雇人あり 雇人なし 自家営業の手伝い 内職

・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます
・上記以外の派遣されていた人(デパートの派遣店員など)は派遣元の事業所における呼称について記入してください

(E欄へ)

F ふだんの育児・介護の状況について (全員が記入してください)

F 1 子の育児をしていますか

子の育児をしている (F2へ) 子の育児をしていない

・この設問での育児は未就学児を対象とします
・ここの育児には乳幼児の世話や見守りなどをいいます

ふだんの1日当たりの家事・育児時間 1時間未満 1～2時間未満 2～4時間未満 4～6時間未満 6～8時間未満 8時間以上

F1の2 この1年間に育児休業など の制度を利用しましたか
(利用した場合はあてはまるものすべてにマーク)

育児休業 短時間勤務 子の看護休暇 残業の免除・制限 その他 しなかった

・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含めます

F 2 家族の介護を していますか

介護をしている (G欄へ) 介護をしていない

月に3日以内 週に1日 週に2日 週に3日 週に4～5日 週に6日以上

・自宅外にいる家族の介護も含めます
・介護の内容については『調査票の記入のしかた』を参考してください

F2の2 この1年間に介護休業など の制度を利用しましたか
(利用した場合はあてはまるものすべてにマーク)

介護休業 短時間勤務 介護休暇 残業の免除・制限 その他 しなかった

・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含めます

(G欄へ)

G 世帯について (世帯主のみ記入してください)

G 1 世帯全体の 年間収入(税込み)

100万円未満	100万円～199万円	200万円～299万円	300万円～399万円	400万円～499万円	500万円～599万円	600万円～699万円	700万円～799万円	800万円～899万円	900万円～999万円	1000万円～1249万円	1250万円～1499万円	1500万円～1999万円	2000万円以上
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

・ここではあなた以外の世帯員の収入も合計した金額を記入してください

G 2 15歳未満の 世帯人員

0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳

15歳未満の合計 8歳 9歳 10歳 11歳 12歳 13歳 14歳

おもな仕事について(仕事を休んでいる人は休んでいる仕事について記入してください)

おもな仕事以外の仕事について

この調査票は機械にかけますので汚したり丸めたり最初に折られている以上に折ったりしないでください